

高梁2025 “地域医療はまちづくり”⑦

「高梁2025」は、持続可能な地域医療体制の構築に向けた取り組みの総称です。

高梁市地域医療連携に関する協定締結

令和2年7月22日(水)に国立大学法人岡山大学岡山大学病院、(一社)高梁医師会および高梁市で、高梁市地域医療連携に関する協定を締結しました。

平成30年5月に、持続可能な地域医療体制の構築を目的とする高梁市医療計画を策定する中で、市外医療機関との連携が不十分であるといった課題が浮き彫りとなりました。市内で提供できる医療には限りがあり、救命救急病棟や集中治療室などで行う高度な医療について、市外の中核病院との連携は必須です。

こういった状況の中で、岡山大学病院との締結に至りました。連携事項は、**救急・周産期医療体制の確立、円滑な入退院支援、災害時などの医療体制の構築**などです。

今後は、より一層、関係機関との連携を強化し、医療人材の交流や確保、スムーズな入院受け入れや退院後のサポート体制などを構築することで、市民の皆さんが**市内で安心して生活ができるように、切れ目のない医療を提供していく体制を整えていきたい**と考えています。



高梁市地域医療連携に関する調印式
(撮影時のみマスクを外しています)

市ホームページ「高梁2025～地域医療の高梁モデル構築に向けた100の検討とアクション～」にこれまでの議論の内容などを掲載しています。

☎介護医療連携課 (21) 0304 / (一社)高梁医師会 ☎(22) 3801



健康づくり応援通信 ③⑤

☎健康づくり課 (21) 0228

健康診査・特定健康診査について

生活習慣病は、一人一人がバランスの良い食生活や適度な運動習慣を身に付けることで予防できます。健康状態を確認し、健康づくりにつなげるためにも**1年に1度、健康診査・特定健康診査を受診**しましょう。

健康診査 生活習慣病の予防や病気の重症化を防ぐことを目的とした健康診査で、30歳～39歳と75歳以上の人が対象

特定健康診査 メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した健康診査で、国民健康保険に加入している40歳～74歳の人対象

※職場の健康診断や市外医療機関の人間ドックでの健診結果を、健康づくり課が各地域局へ提出することで、特定健診を受けたことになります。

検診期間

集団検診…12月24日(木)まで

医療機関検診…令和3年2月27日(土)まで

※詳しくは、けんこうガイドブックをご覧ください。

なお、新型コロナウイルス感染症の状況により、日程を変更する場合があります。

注意事項

- ① 30歳～39歳の方は、集団検診会場でのみ受診ができます。
- ② 75歳以上の方は、血圧・コレステロール・血糖を下げる薬を服用していない人が対象です。
- ③ 国民健康保険加入者で40歳以上の人に「特定健康診査受診券」、75歳以上の人に「健康診査受診券」を送付しています。
- ④ 日曜日実施の健康診査・特定健康診査は予約制になりました。



越智淳子 保健師
(健康づくり課)

「ジャパンレッド」発祥の地ー弁柄と銅の町・備中吹屋ー 高梁市日本遺産推進協議会の設立について

令和2年8月19日に高梁市日本遺産推進協議会が設立されました。この協議会において、文化庁より補助金を受け、3年間で事業を進めていきます。

令和2年度実施予定の事業内容

- 観光コンシェルジュの育成を行い、ガイドの人材育成を行うとともに、おもてなしの手法を学びます。
- 日本遺産認定記念シンポジウムを開催し認知度を向上させ、商品開発や観光振興、誘客などの地域活性化につなげます。
- 文献調査事業として弁柄と銅に関する資料を収集・調査し、目録や資料集などを作成します。
- 構成文化財それぞれに、多言語による案内板・解説板を製作・設置し、文化財についての理解促進と国内外の観光客が周遊する際の利便性向上を図ります。

日本遺産ロゴマークの使用について

市内の事業者などは、協議会が指定するロゴマークを商品などに印刷して使用することができます。高梁市の日本遺産ストーリーのPRをお願いします。

条件

- 高梁市の日本遺産ストーリーの普及啓発や広報、理解促進が使用目的であること
- 商品などに使用する場合は、次の2つの文言を入れること
 - ① 「ジャパンレッド」発祥の地ー弁柄(べんがら)と銅(あかがね)の町・備中吹屋ー
 - ② 高梁市の日本遺産を応援しています

使用方法 使用申請書に必要事項を記入し、サンプルを添付のうえ協議会事務局へ提出してください。なお、ロゴマークの使用については事前に協議会事務局との協議が必要です。



☎高梁市日本遺産推進協議会事務局(日本遺産・歴まち推進室) ☎(21) 0257

「アツイぜー!高梁市」 令和2年夏の暑かった記録

毎年暑い高梁市の夏ですが、令和2年は例年以上に暑い夏となり、特に8月は記録づくしの猛暑が続き、全国的に注目されました。

ここで暮らす皆さんにとって暑さは良いことばかりではありませんが、日本一高い場所に現存天守を持つ備中松山城、日本遺産に認定された成羽町吹屋、なでしこリーグで戦う吉備国際大学シャルム岡山高梁などとともに、アツイまち・高梁市を全国へPRしていきます。
市民の皆さんは、引き続き熱中症などにお気を付けてください。

令和2年夏・高梁市のお天気の記録

5月2日	令和2年最初の真夏日(最高気温30度以上)
7月30日	梅雨明け(平年より9日、令和元年より5日遅く)
8月5日	令和2年最初の猛暑日(最高気温35度以上)
8月9日	猛暑日連続日数記録始まる
8月21日	最高気温39.3度(平成19年8月18日の39.0度を超え市の歴代最高値/平成6年8月の県内最高記録に並ぶ)
8月31日	23日連続の猛暑日(大分県日田市の記録を更新し猛暑日連続日数日本一に)
9月1日	最高気温37.0度で24日連続猛暑日となる(平成22年に記録した市の9月最高気温に並ぶ)
9月8日	42日連続の真夏日となる(7月29日から)

